操作手順一覧表

操作手順	操作/確認部分	新規取付	子機の全削除 ※事前に「子機の全削除」の手順で削除してください。	子機の交換 ※事前に「子機の全削除」の手順で削除してください。	操作手順
1	親機 ・カバーの取り外し	カバーを取り外す。	カバーを取り外す。	カバーを取り外す。	1
2	親機 ・ロータリースイッチの操作	「F」に設定する。	「7」に設定する。	「F」に設定する。	2
3	子機 ・カバーの取り外し	カバーを取り外す。	ボタンを3秒程度押し、緑ランプが点灯→点滅へと変わったら、すぐにボタンを離す。 緑ランプが一旦消灯する。	カバーを取り外す。	3
4	子機 ・ロータリースイッチの操作 （アドレスの設定）	各子機で重複しないよう、「0」から「E」まで順番にアドレスを設定する。	ボタンを押す。 緑ランプが点灯したらボタンを離す。 ○**成功したとき** 親機と子機の緑ランプが5秒間点灯 ×**失敗したとき** 緑ランプが消灯 手順3から操作をやり直してください。 ※手順3～4の操作は10秒以内に行ってください。	新しく交換する子機のアドレス番号を、交換前の子機のアドレス番号に設定する。	4
5	親機 ・ボタンの操作 ・ランプ表示確認	ボタンを押し、緑ランプを点灯させる。点灯したら、すぐにボタンを離す。 緑ランプが連続した点滅に変わる。		ボタンを押し、緑ランプを点灯させる。点灯したら、すぐにボタンを離す。 緑ランプが連続した点滅に変わる。	5
6	子機 ・ボタンの操作 ・ランプ表示確認	※前項の操作から60秒以内に行ってください。 子機のボタンを押し、緑ランプを点灯させる。点灯したら、すぐにボタンを離す。 ○**成功したとき** 親機の緑ランプが5秒間点灯→点灯から点滅 子機の緑ランプが5秒間点灯 ×**失敗したとき** 子機の緑ランプが消灯 再度、子機ボタンの操作をやり直してください。 60秒以上経過したときは、手順5の操作からやり直してください。 複数の子機を登録する場合は、本項を繰り返してください。		※前項の操作から60秒以内に行ってください。 子機のボタンを押し、緑ランプを点灯させる。点灯したら、すぐにボタンを離す。 ○**成功したとき** 親機の緑ランプが5秒間点灯→点灯から点滅 子機の緑ランプが5秒間点灯 ×**失敗したとき** 子機の緑ランプが消灯 再度、子機ボタンの操作をやり直してください。 60秒以上経過したときは、手順5の操作からやり直してください。 子機全てを再登録してください。	6
7	親機 ・ボタンの操作 ・ランプ表示確認	ボタンを1秒間押し、緑ランプを消灯させる。		ボタンを1秒間押し、緑ランプを消灯させる。	7
8	親機 ・カバーの取り付け	カバーを取り付ける。 親機のラベル（前）に、登録した子機台数と有効期限を必ず記入する。	カバーを取り付ける。	カバーを取り付ける。	8
9	子機 ・カバーの取り付け	カバーを取り付ける。 子機のラベル（前）に、設定したアドレス番号と、有効期限を必ず記入する。	カバーを取り付ける。 子機のラベル（前）に、設定したアドレス番号と、有効期限を必ず記入する。	カバーを取り付ける。 子機のラベル（前）に、設定したアドレス番号と、有効期限を必ず記入する。	9
		前ページ「4.連動点検」を実施する。	前ページ「4.連動点検」を実施する。	前ページ「4.連動点検」を実施する。	

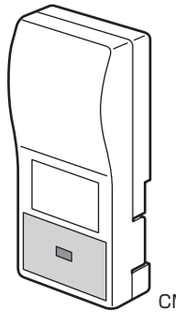
COSMOS

住宅用火災警報器用無線装置

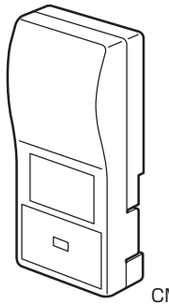
セット型式 **CM-P/K**

型　　式 親機 **CM-P**　子機 **CM-K**

取付説明書



CM-P



CM-K

●機器の概要

・ **警報器用無線装置[親機]：CM-P（親機と呼びます）**
住宅用火災警報器に接続する無線装置です。
CM-Kと組み合わせて、複数の住宅用火災警報器を連動動作させることができます。

・ **警報器用無線装置[子機]：CM-K（子機と呼びます）**
住宅用火災警報器に接続する無線装置です。
CM-Pと組み合わせて、複数の住宅用火災警報器を連動動作させることができます。
子機は最大15台まで接続可能です。

この取付説明書では、親機、子機をあわせて無線装置と呼びます。

●設置前の確認

・ **接続機器の確認**
外部機器（警報器）と接続する前に、組み合わせ可能な機器かどうかを必ず確認してください。

・ **梱包内容の確認**
梱包部品の種類と個数を確認してください。

親　機	子　機
・接続ケーブル…… 1本	・接続ケーブル…… 1本
・取付板…… 1個	・取付板…… 1個
・木ねじ…… 2本	・木ねじ…… 2本
・ピン…… 5本	・ピン…… 5本
・取扱説明書（保証書付）… 1冊	・取付説明書（本書） …… 1冊

・ **有効期限の記入**
無線装置の前面に貼られているラベルに、有効期限を記入してください。
有効期限は、お取付日から10年後の西暦の末尾2ケタと月を必ず記入してください。

●設置後の確認

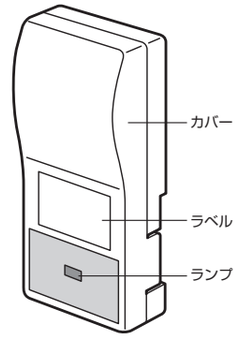
・ **ラベルへの記入内容**
無線装置の前面に貼られているラベルに、次の内容が記入されていることを必ず確認してください。

親機	子機
有効期限、子機台数	有効期限、子機番号（アドレス）

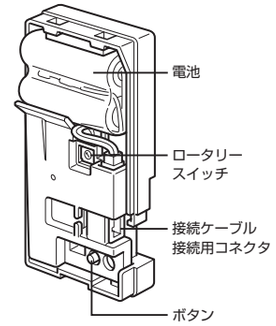
各部の名称

●親機

カバーあり



カバーなし



●子機

カバーあり

カバーなし

TT0262A2-A

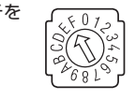
新規取付時の手順

1 初期登録

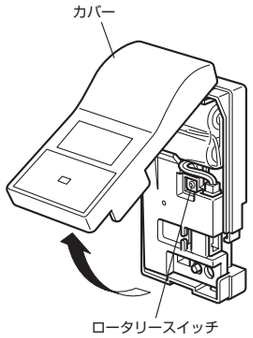
※CM-P/K（セット品）の場合は登録済みのため「初期登録」の操作は不要です。
⑤および⑪のラベル記載のみ行ってください。
親機と子機をグループ化する操作を行います。
子機と遮断子機は合わせて最大15台（遮断子機は１台のみ）まで登録できます。

①親機のカバーを取り外す。

②親機のロータリースイッチを「F」に合わせる。



ロータリースイッチ



③子機のカバーを取り外す。

④子機のアドレスを、0 ～ Eの中から選択する。
※1台目を「0」から順番に、登録する全ての子機に設定します。他の子機と重複させないようにしてください。

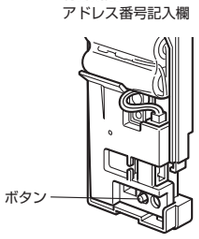
⑤子機のカバーのラベル（前）に、親機に登録するアドレス番号と、有効期限を必ず記入する。

子機のラベル

子機番号	
有効期限	20　年　月

有効期限
アドレス番号記入欄

⑥親機のボタンを押し、緑ランプを点灯させる。
点灯したら、すぐにボタンを離す。緑ランプが連続した点滅に変わる。
※緑ランプが点滅後、消灯するなど、連続して点滅しない場合は、再度⑥の操作をやり直してください。



⑦子機のボタンを押し、緑ランプを点灯させる。点灯したら、すぐにボタンを離す。

※手順⑥⑦の操作は、60秒以内に行ってください。

⑧親機と子機のランプ表示を確認する。

○	成功した場合は、親機、子機とも緑ランプが5秒間点灯します。親機は点灯から点滅に変わります。
×	登録に失敗した場合は、子機の緑ランプが消灯します。再度、⑥の操作をやり直してください。

⑨他の子機を続けて登録する場合は⑦へ、終了する場合は、⑩へ進む。

⑩親機のボタンを1秒間押し、緑ランプを消灯させる。

⑪親機のカバーのラベル（前）に、登録した子機台数と有効期限を必ず記入する。

⑫親機と子機のカバーを取り付ける。

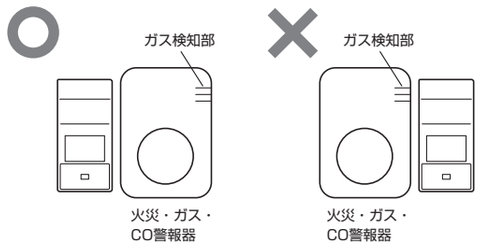
親機のラベル

子機台数	
有効期限	20　年　月

有効期限
子機台数記入欄

2 接続

付属の接続ケーブルで無線装置と警報器を接続します。
接続する警報器が、火災・ガス・CO警報器の場合はガス検知部を覆わないように設置します。
※接続前に、警報器の火災連動入出力の接続方法を確認してください。



3 通信感度の確認

通信感度を確認して、安定して通信できる場所に取り付け位置を決めます。

親機から通信感度を確認する場合

①親機のロータリースイッチを「8」に合わせる。
②親機のボタンを3秒程度押し、緑ランプが点灯→点滅へと変わったら、すぐにボタンを離す。
③緑ランプの表示内容を下表にて確認する。
※各子機ごとに個別の送信はできません。子機全体への送信となります。

子機から通信感度を確認する場合

①子機のボタンを3秒程度押し、緑ランプが点灯→点滅へと変わったら、すぐにボタンを離す。
②緑ランプの表示内容を下表にて確認する。

通信感度の結果表示

	親機	子機
問題なく通信ができる	緑ランプ5秒点灯	
通信感度が弱い	緑ランプ高速点滅	
通信ができない	緑ランプ4回点滅	

通信感度が弱い、あるいは通信できない表示がされた場合は、無線装置の位置を移動して再度確認してください。

4 連動点検

無線装置を取り付けたら、必ず連動点検を実施して、全ての警報器が連動して音声メッセージが流れることを確認してください。
連動点検をするときは、必ず事前にお客さまへ全ての警報器から音声メッセージが鳴ることを伝え、承諾を得てください。
警報時の操作や、動作確認時の音声メッセージ等については、警報器の取扱説明書を参照してください。

親機に接続した住宅用火災警報器を操作します。
親機・子機の操作をする必要はありません。

①親機に接続した住宅用火災警報器の火災連動入出力機能の点検操作を行ってください。
②親機および子機に接続した全ての警報器の音声メッセージを確認してください。

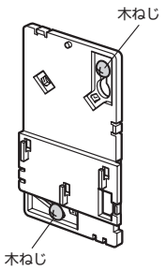
○	全ての警報器が連動して音声メッセージが流れた場合は、施工完了です。
×	音声メッセージが流れない警報器がある場合は、無線装置と警報器の接続方法や警報器の操作方法などを再度確認してください。

無線装置の取り付け

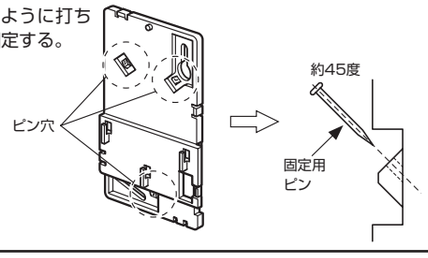
※親機と子機は、どちらも取付方法は同じです。

最初に警報器の位置を決め、警報器のガス検知部を覆わない位置に無線装置を取り付けてください。

〈木質壁・コンクリート壁の場合〉
木ねじを図のようにねじ込み、取付板を固定する。



〈石膏ボード壁の場合〉
ピン（3本）を図のように打ち込んで、取付板を固定する。



無線装置を図のように取付板に取り付ける。